

頭部外傷(保存療法)で入院された患者さまへ

患者様用

氏名：様 受持医： 受持看護師：

月 日(日時)	／		／		／		／	
経 過(病日)	入院1日目		入院2～3日目		入院4～6日目		入院7日目	
達成目標	◆意識レベルの低下がない ◆体温38.0℃以上の発熱がない ◆呼吸状態が悪化しない ◆循環動態が安定している （収縮期血圧が80～130mmHg） ◆神経症状が増悪しない ◆痙攣がない		◆意識レベルの低下がない ◆体温38.0℃以上の発熱がない ◆呼吸状態が悪化しない ◆循環動態が安定している （収縮期血圧が80～130mmHg） ◆神経症状が増悪しない ◆痙攣がない ◆頭痛がコントロールできる		◆意識レベルの低下がない ◆呼吸状態が悪化しない ◆循環動態が安定している （収縮期血圧が180mmHgである） ◆神経症状が増悪しない		◆意識レベルの低下がない ◆呼吸状態が悪化しない ◆循環動態が安定している （収縮期血圧が180mmHgである） ◆神経症状が増悪しない ◆退院・転院について理解できる	
治療・薬剤	点滴を行います 血圧が高ければ血圧を下げる点滴を行います				入院5日目で点滴が終わります			
処 置	外傷があれば消毒などの傷の手当てを行います							
検 査	血液検査・CT撮影・エックス線撮影・心電図検査・尿検査など		頭部CT撮影で出血拡大の有無を確認します		頭を打った方へ・・・ 頭部打撲後、1～3ヶ月程経過してから慢性硬膜下血腫を発症することがあります。 症状として、①頭痛、②手足の動かしづらさ、③歩行がふらつく、④物忘れなどがあります。 症状が継続する場合、近くの病院を受診してください。			
活動・安静度	ベッド上安静です		頭部CT撮影後異常なければ症状に合わせて歩行が可能になります					
食 事	入院当日は絶食です		症状に合わせて食事を開始します					
清 潔	看護師が体を拭きます		頭部CT撮影後はシャワー浴ができます					
排 泄	ベッド上排泄となります 必要であれば膀胱留置カテーテルを挿入します		頭部CT撮影後は症状に合わせてトイレまで歩行ができます					
患者様およびご家族への説明 リハビリ 栄養指導 服薬指導	主治医が治療計画について説明いたします 看護師が入院生活について説明いたします 薬剤師が薬について説明いたします 入院費に関するご心配事がありましたら、お早めに4階総合受付6番にご相談ください		リハビリを開始します 持参薬確認後内服を再開します		退院後に慢性硬膜下血腫を発症することがあるため 脳卒中ノートを用いて生活指導を行います			

注:入院期間については現時点で予想される期間です。